

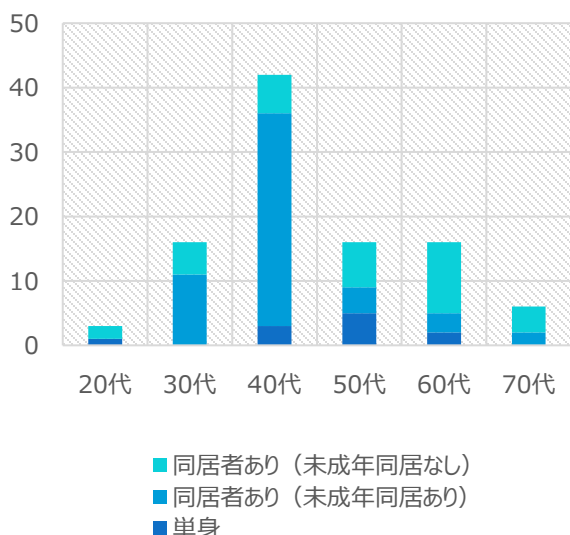
「生物多様性地域戦略の作成に向けたアンケート」 回答結果報告

実施期間：令和7年10月10日～11月30日

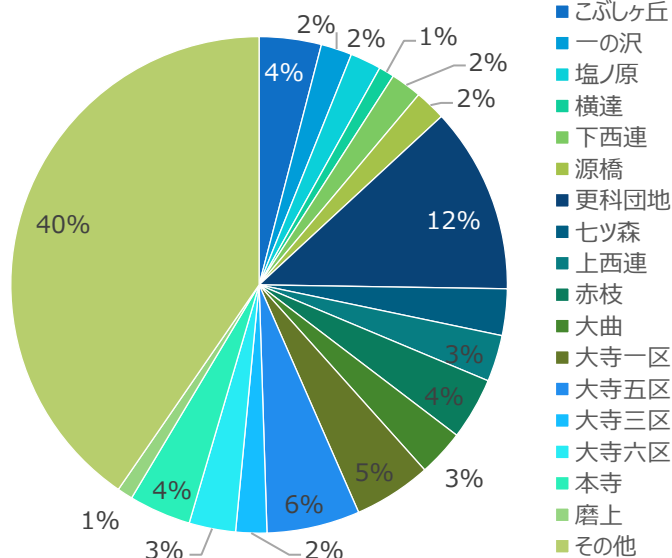
回答数：99



回答者の年代（家族構成別）

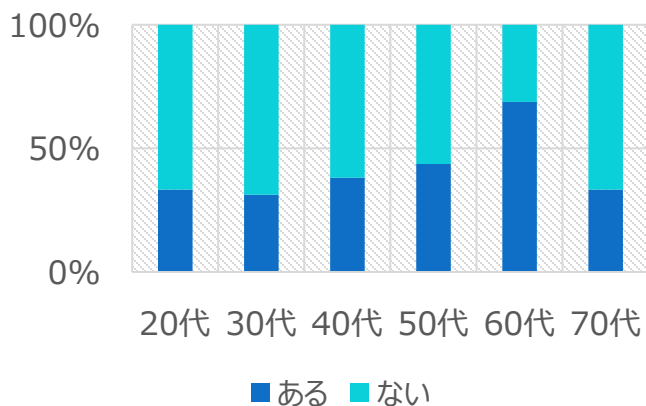


行政区ごとの回答割合

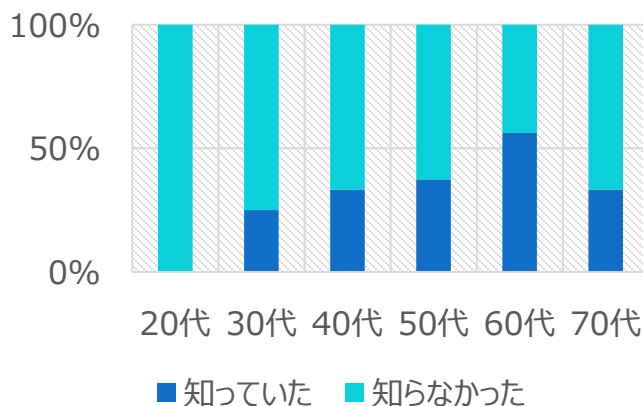


回答者の方は「**40代の子育て世代**」が最も多くなりました。お住まいの行政区に関しては、「その他」でパートナー企業にお勤め等で町外にお住まいの方の回答が多くなりましたが、町内で最も多かったのは「更科団地」、次いで「大寺五区」でした。

「ネイチャーポジティブ」という言葉を
聞いたことがありますか？

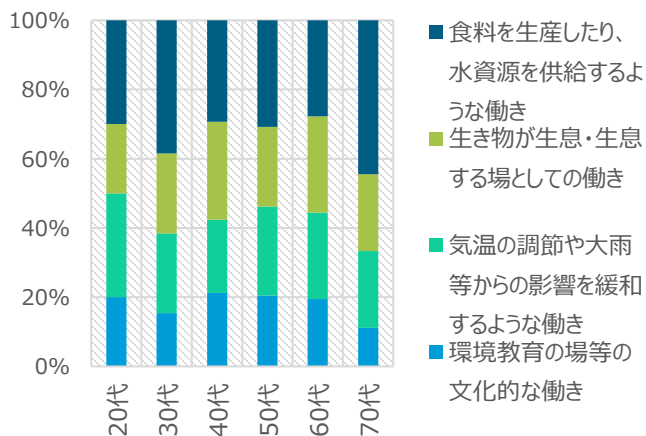


町がネイチャーポジティブ宣言をしたことを
知っていますか？

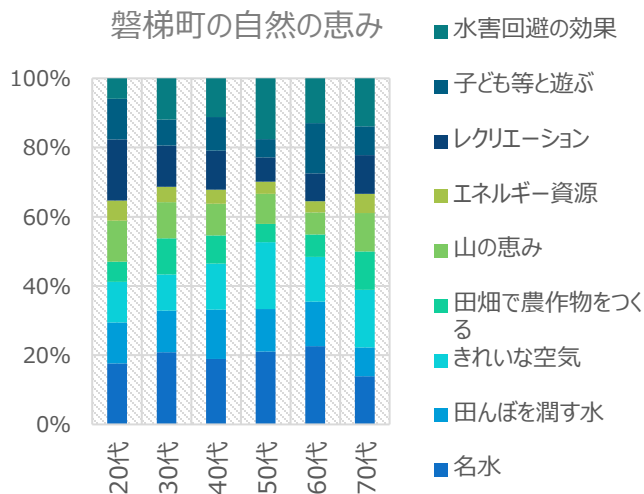


上記の結果から、ネイチャーポジティブという言葉も町の取り組みもあまり浸透していないことが分かります。
町がネイチャーポジティブを実現していくためには、みなさんの協力が不可欠です。今後の取り組みについては引き続き様々な方法で紹介してまいります。

重要と考える生態系サービス

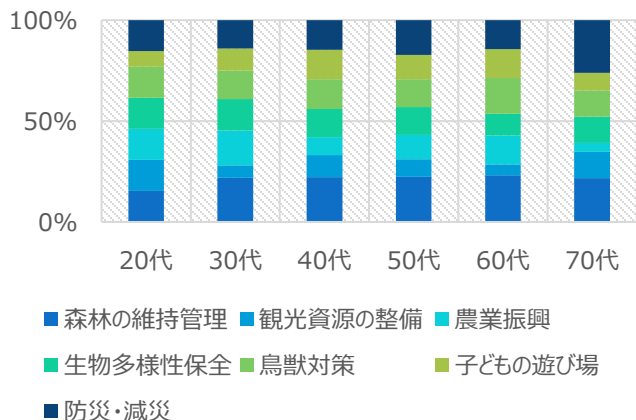


磐梯町の自然の恵み

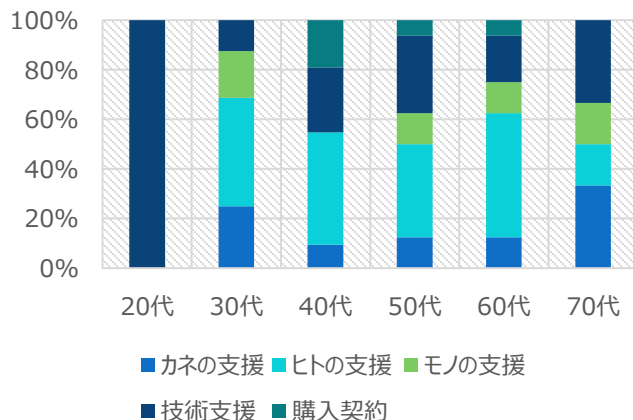


みなさんが自然から受けている恩恵として重要と考える「生態系サービス」はいずれの年代でも「**食料・水等を供給する働き**」の回答が多くなりました。また、磐梯町の自然のめぐみとして重要視している内容についても「**名水**」との回答が最も多く、町民だけではなく町外の方にも「磐梯町は名水のまち」という認識が根付いていることが分かります。

町で必要な取組はどれ？



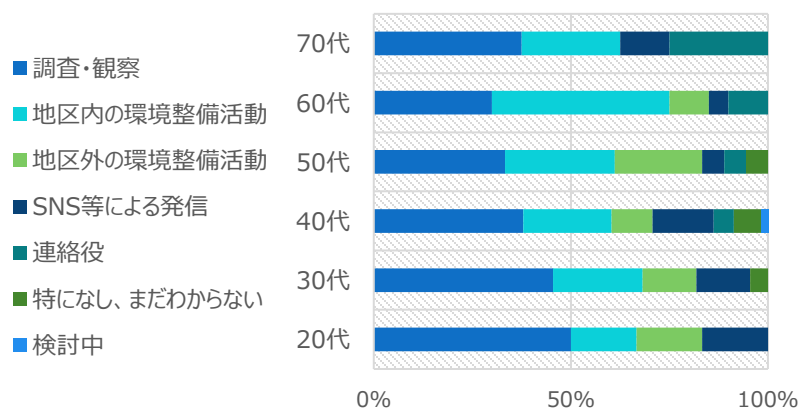
自然共生サイト登録のメリットは？



町がネイチャーポジティブを実現するために必要な取組についてのご意見を伺ったところ、こちらも「**名水を育む森林の維持管理**」についての回答がほとんどの年代で最も多くなりました。70代では「**防災・減災**」の機能を果たす森林の役割についてが最も多く、以前に比した天候の変化等を心配されていることがうかがえました。自由記載の中でも「**地区の草刈りが大変**」とのご意見もあり、環境整備活動の継続に対する不安が垣間見えた結果となりました。

自然共生サイト登録のメリットは？という質問で「**ヒトの支援**」という回答が多くなったのも、環境の維持管理において人手が重要であると多くの人が認識していることを示しています。

参加してみたい活動



自然共生サイトに登録された地区で参加してみたい活動については、「**観察・調査**」活動意欲が高い年代が多い一方、普段から地区内の草刈りなどを担っておられる60代においては、地区内の環境整備活動への回答が最も多くなりました。

今まで行っていた活動に「**生物多様性保全**」という意味を少しプラスすることで、外部からの支援を受けやすくなる仕組みが「**自然共生サイト**」の仕組みです。

この仕組みを活用して、町の魅力を向上させよう！というネイチャーポジティブの考え方を意識して、みなさんが暮らしやすい町を目指していきたいですね。